

2022年6月29日(水)  
国際芸術祭「あいち」組織委員会  
電話：052-971-3111(代表)  
内線：724-686、724-684

## 国際芸術祭「あいち2022」芸術大学連携プロジェクト 「アートラボあいちと四芸大による連続個展」を開催します。

国際芸術祭「あいち」組織委員会が運営するアートラボあいちのスタッフと、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、名古屋学芸大学の四大学の教員とがチームを組み、各大学を卒業・修了後10年以内のアーティストを1名ずつ選出し、「あいち2022」の会期に合わせた連続個展を開催します。

選出された20代の若い作家にとって、3部屋で構成されるアートラボあいちの展示室は新しい挑戦の場となります。展示を作り上げる過程においては、チームメンバーがメンターとなり、作家たちと対話を重ね展覧会を実現していきます。愛知という地でこれから生まれる新鮮な表現活動に御期待ください。

### 1 展覧会の概要

#### (1) 会期

- |                                 |                            |                    |
|---------------------------------|----------------------------|--------------------|
| ・スズキアヤノ                         | 「SPRING&SUMMER COLLECTION」 | 7月30日(土)～8月14日(日)  |
| ・大野未来<br><small>おおのみこ</small>   | 「片隅で○になる」                  | 8月20日(土)～9月4日(日)   |
| ・山田憲子<br><small>やまだのりこ</small>  | 「うみになる」                    | 9月10日(土)～9月25日(日)  |
| ・杉谷遊人<br><small>すぎたにゆうと</small> | 「語源は話す、いくつかの方法」            | 10月1日(土)～10月16日(日) |

#### (2) 開館日時

月曜日休館(祝日は開館)、午前11時から午後7時まで

#### (3) 場所

アートラボあいち

名古屋市中区丸の内三丁目4-13 愛知県庁大津橋分室2階・3階

(電話・FAX：052-961-6633)

#### (4) 入場料

無料

## (5) 主催

国際芸術祭「あいち」組織委員会、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、名古屋学芸大学

## (6) 助成

一般財団法人地域創造

## 2 関連プログラムの開催

各展示に関連したプログラムを実施予定です。詳細は、アトラボあいち Web サイトを御確認ください。

## 3 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、展覧会の会期などを変更・中止する場合があります。その際は、アトラボあいち Web サイトでお知らせします。

## 4 作家プロフィール

### スズキアヤノ

- ・2020年 愛知県立芸術大学大学院美術研究科修士課程油画・版画領域修了、活動拠点 東京都
- ・身近に存在している風景やものをモチーフにし、絵画を中心に制作。ドローイングを重ねてかたちを探りながら、ポップな色彩と線によって作りあげてゆく。描かれているものは、どこか動きだしそうな躍動感があり、存在しているなにかのように思われる。鑑賞者は自然と、自身の中にある風景を思い浮かべながら、絵画を見上げているのかもしれない。“ある”のではなく“いる”と感じられる作品を展開している。主な展覧会に、個展「オーガナイザー」(2019年、伊勢現代美術館、三重)、「アートフェア東京 -Future Artists Tokyo-」(2019年、国際フォーラム・寺田倉庫、東京)、「3331 ART FAIR 2018」(2018年、3331 Arts Chiyoda、東京)

### 大野未来

- ・2021年 名古屋芸術大学美術学部洋画コース卒業、活動拠点 愛知県
- ・壁のシミや亀裂、物の影などによって連想されるイメージは自己の感情の姿を映し出す鏡のように存在している。その姿を捉え、描き出すこと観察することを繰り返し行うことによって自分と感情というものとの距離感を掴もうとしている。主な展覧会に、「3331 ART FAIR」(2021年、3331 Arts Chiyoda、東京)「DELTA」(2021年、駒込倉庫、東京)「あわいの視点 vol.2」(2021年、愛知県美術館、愛知)

### 山田憲子

- ・2016年 名古屋学芸大学メディア造形学部映像メディア学科卒業、活動拠点 愛知県
- ・写真を中心に制作。撮影行為によって生まれる対象との関わり、流れる時間から抽出された一瞬である写真を見つめ、反芻する制作を通じ、自身の日常を取り巻く光景や、記憶、体験に对峙する様を作品として提示している。写真に文章を交えながら、冊子、壁面、空間展示など展開方法は作品毎に変化している。主な展覧会に、個展「遠くに見える山の名前をおしえて」展(2021年、白栢、愛知)、グループ展「大名古屋電脳博覧会 2019」(2019年、名古屋市民ギャラ

リー矢田、愛知)

## 杉谷遊人

- ・2022年 名古屋造形大学大学院造形研究科修士課程洋画研究領域修了、活動拠点 愛知県
- ・タブローの問題を軸に、タブラ (tabula) という語をひとつの芸術形式として捉え制作を行う。ラテン語で「板」を意味する語が、タブローやテーブルを含むさまざまな語に派生・分化したことに注目し、語源にあたるこの語に内在する複数の発現や論理を、共時的に構成しうる事物の在り方をタブラ (tabula) とする。この形式を作品の基本構造として組み込み、従来とは異なる枠組みによるタブローの構築を試みる。主な展覧会に、「day to day」(2018年、名古屋市市政資料館、愛知)、「宙吊りな定着」(2018年、名古屋造形大学内石彫場コンテナ U8projects、愛知)、「清須市第9回はるひ絵画トリエンナーレ」(2018年、清須市はるひ美術館、愛知)

## 5 問合せ先

(展覧会と会場に関する問合せ先)

アートラボあいち (金曜日から日曜日・祝日開館)

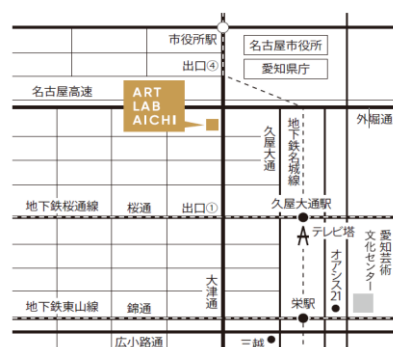
※展覧会の会期中は火曜日から日曜日・祝日開館)

住所：〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目 4-13

電話・FAX：052-961-6633

URL：<https://aichitriennale.jp/ala/>

E-Mail：[ala@triennale.jp](mailto:ala@triennale.jp)



(その他に関する問合せ先)

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

住所：〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター 6階  
(愛知県県民文化局文化部文化芸術課国際芸術祭推進室内)

電話：052-971-3111

FAX：052-971-6115

URL：<https://aichitriennale.jp/>

E-Mail：[triennale@pref.aichi.lg.jp](mailto:triennale@pref.aichi.lg.jp)